



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月14日

上場会社名 株式会社ビースタイルホールディングス 上場取引所 東
コード番号 302A URL <https://www.bstylegroup.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三原 邦彦
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 加藤 勝久 (TEL) 03(5363)4400
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	3,081	—	117	—	115	—	73	—
2025年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 74百万円(—%) 2025年3月期第1四半期 ー百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	51.01	48.70
2025年3月期第1四半期	—	—

(注) 2025年3月期第1四半期において四半期連結財務諸表を作成していないため、2025年3月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2026年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	4,135	1,337	32.3
2025年3月期	4,150	1,263	30.4

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 1,337百万円 2025年3月期 1,263百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	12,743	13.6	160	△50.5	128	△60.6	32	△83.6

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期1Q	1,449,600株	2025年3月期	1,449,600株
2026年3月期1Q	一株	2025年3月期	一株
2026年3月期1Q	1,449,600株	2025年3月期1Q	一株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 当社は、2025年3月期第1四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、2025年3月期第1四半期の「期中平均株式数」を記載しておりません。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明動画の入手方法)

当社は決算補足説明動画を決算発表後、速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。なお、当社は、前第1四半期連結累計期間については四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っておりません。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、物価上昇による個人消費に弱さがみられるものの、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復が期待されています。一方で、米国の通商政策や為替変動、中東・ウクライナといった地政学リスク、そして原材料価格の高騰により景気に与える影響が懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況が継続しております。

当社グループの人材サービス業界の市場動向については、日本国内の有効求人倍率は1.24倍と堅調に推移しております。企業においては少子高齢化に伴う構造的な人手不足への対応が慢性的な課題となっており、採用ニーズの拡大や人材の流動化が今後さらに進むことが予想されます。また、人材の活用形態や働き方の多様化、ワークライフバランスを重視する価値観の変化など、個人のライフステージやライフワークのニーズに合わせた働き方を提供することが一層求められております。

このような状況のもと、当社グループの派遣・紹介事業におきましては、競争優位性を有するフレキシブルワーカー領域を中心に、人材派遣及び人材紹介の営業力の強化を図るとともに、新たな事業としてのメディカル事業の受注獲得に取り組んでまいりました。

メディア事業におきましては、テレビCMの活用による認知度向上の施策や人手不足が深刻な業種や職種に焦点を当て集客を強化してまいりました。

また、当社グループは世界を変えるソーシャルカンパニーとして、経営理念であるパーパス（PURPOSE）不変の存在意義は、「時代に合わせた価値を創造する」、バリュー（VALUE）大切な価値観は、「四方よし 買ってよし・売ってよし・世間よし・仲間よし」、ミッション（MISSION）果たすべき使命は、「社会課題をビジネスで解決する」、ビジョン（VISION）目指す未来は、「かかわる全ての人がしあわせ」のもとに、業績の向上と企業価値の増大に努めてまいりました。

この結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間における業績は、連結売上高3,081,372千円、売上総利益1,517,597千円、営業利益117,848千円、税金等調整前四半期純利益115,014千円、親会社株主に帰属する四半期純利益73,941千円となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(派遣・紹介事業)

派遣・紹介事業は、豊富な経験・高いスキルを有する自走型人材の人材派遣、オフィスワーク経験豊富な主婦を中心にパート型派遣・紹介のサービスを展開しております。当第1四半期連結累計期間におきましては、人材派遣事業における稼働人数の減少に伴い、人材派遣売上が減少いたしました。人材紹介事業では時短正社員の紹介における就業決定数の減少に伴い、人材紹介売上が減少いたしました。以上の結果、売上高が1,740,548千円、セグメント利益116,393千円となりました。

(メディア事業)

メディア事業は、しゅふの労働力を求める企業と働く条件の多いしゅふのお互いのニーズを満たした情報を提供する、求人サイト「しゅふJOB」の運営を行っております。当第1四半期連結累計期間におきましては、CM放映によるブランド認知の効果が奏功し、求人への応募数が伸びました。以上の結果、売上高が1,147,881千円、セグメント利益388,683千円となりました。

(DX事業)

DX事業は、BPA（ビジネス・プロセス・オートメーション）事業、ITエンジニア派遣・業務委託サービス事業を展開しております。当第1四半期連結累計期間におきましては、BPA事業における稼働人数が堅調に推移したほか、ITエンジニア派遣・業務委託サービスではビジネスパートナーの人材を活用した受注の獲得が伸びました。以上

の結果、売上高は228,758千円、セグメント利益13,506千円となりました。

(その他の事業)

その他の事業は、障がい者雇用推進、当社グループ内業務代行サービスを提供しております。売上高は30,064千円、セグメント利益7,731千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ15,276千円減少し、4,135,438千円となりました。流動資産合計は前連結会計年度末に比べ24,586千円減少し、3,650,164千円となりました。これは主に仕掛品が18,994千円増加した一方、未払金の支払いや未払法人税等の支払いにより現金及び預金が65,618千円減少したことによるものであります。固定資産合計は前連結会計年度末に比べ9,310千円増加し、485,274千円となりました。これは主にPCの購入に伴う有形固定資産及びソフトウェア開発による無形固定資産の取得により38,983千円増加いたしましたが、減価償却費による31,668千円の減少によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ89,704千円減少し、2,797,843千円となりました。これは主に未払消費税等が63,822千円、賞与引当金が60,314千円増加した一方、未払金が123,582千円、長期借入金が35,700千円、未払法人税等が77,136千円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ74,428千円増加し、1,337,594千円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が73,941千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、2025年5月15日に公表の業績予想から変更はありません。なお、業績予想につきましては、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる場合がございます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,400,255	2,334,636
売掛金	1,160,988	1,170,324
仕掛品	—	18,994
その他	126,834	139,504
貸倒引当金	△13,328	△13,295
流動資産合計	3,674,750	3,650,164
固定資産		
有形固定資産	198,058	194,646
無形固定資産		
ソフトウェア	187,316	200,767
リース資産	19,928	17,210
その他	1,289	1,282
無形固定資産合計	208,534	219,261
投資その他の資産		
投資有価証券	26,890	27,681
繰延税金資産	9,100	11,182
その他	44,879	42,502
貸倒引当金	△11,500	△10,000
投資その他の資産合計	69,370	71,366
固定資産合計	475,964	485,274
資産合計	4,150,714	4,135,438

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	384,982	388,155
1年内返済予定の長期借入金	142,800	142,800
リース債務	12,140	12,180
未払金	448,669	325,086
預り金	91,372	103,990
未払法人税等	123,716	46,579
未払消費税等	135,837	199,660
賞与引当金	108,044	168,358
その他	10,048	19,855
流動負債合計	1,457,611	1,406,667
固定負債		
リース債務	10,240	7,179
長期借入金	1,378,700	1,343,000
資産除去債務	40,997	40,997
固定負債合計	1,429,937	1,391,176
負債合計	2,887,548	2,797,843
純資産の部		
株主資本		
資本金	309,519	309,519
資本剰余金	235,269	235,269
利益剰余金	714,240	788,181
株主資本合計	1,259,029	1,332,970
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,135	4,623
その他の包括利益累計額合計	4,135	4,623
純資産合計	1,263,165	1,337,594
負債純資産合計	4,150,714	4,135,438

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	3,081,372
売上原価	1,563,775
売上総利益	1,517,597
販売費及び一般管理費	1,399,748
営業利益	117,848
営業外収益	
受取利息及び配当金	86
助成金収入	833
貸倒引当金戻入額	1,500
その他	405
営業外収益合計	2,824
営業外費用	
支払利息	5,089
支払手数料	250
その他	318
営業外費用合計	5,658
経常利益	115,014
税金等調整前四半期純利益	115,014
法人税、住民税及び事業税	43,458
法人税等調整額	△2,385
法人税等合計	41,073
四半期純利益	73,941
親会社株主に帰属する四半期純利益	73,941

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	73,941
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	487
その他の包括利益合計	487
四半期包括利益	74,428
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	74,428

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (注2)	合計
	派遣・紹介 事業	メディア 事業	DX事業	その他の事業 (注1)		
売上高						
外部顧客への売上高	1,726,377	1,139,407	211,433	4,153	—	3,081,372
セグメント間の内部売上高又は振替高	14,170	8,474	17,325	25,910	△65,880	—
計	1,740,548	1,147,881	228,758	30,064	△65,880	3,081,372
セグメント利益	116,393	388,683	13,506	7,731	△408,466	117,848

(注) 1. 「その他の事業」は、障がい者支援を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△408,466千円は、セグメント間取引消去等の調整額及びグループ管理費が含まれております。

3. セグメント利益は、損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、当第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	
減価償却費	31,668千円